あだっこ

五條市立阿太小学校だより
平成 29 年 12 月 15 日
第 25 号

あかるく元気な子　だれにも親切な子　しっかり考える子　ことばを大切にする子

ひとつもぐたび　はじける笑顔
冬の柿狩り 阿太ロマン

○12 月 13 日（水）、今年も地域の方のご厚意で全校児童による柿狩り体験をさせていただきました。北風が吹く寒い日ではありましたが、たわわに実った柿の実と同じくらいに赤く頬を染めながら、一つ一つ柿をもいでいきます。

地域の方のお話では、春先の霜・カメムシの発生・台風の襲来が柿にとっては天敵だそうです。また、今年は 10 月の長雨の影響で、色づきが少し遅れたそうです。おいしい柿を作るためには、最後まで油断大敵だとも言っておられました。自然の驚異と戦いながら苦労や努力を積み重ねてできたのが、この一つ一つの柿の実なのです。感謝の気持ちを忘れてはいけませんね。

本当に、ありがとうございました。

○「布施柿」という言葉があります。

『東北地方に『ふせがき』という風習がある。きびしい冬を前にした秋、かきもぎの作業をするときにその全部をとらずにいくつかを残しておく。そう、それは他の生き物たちのために。

人は豊かな自然のめぐみに感謝しながら生きている。そして自分たちのことばかりではなく、厳しい自然の中で生きている他の生き物たちに心をかよわせ、人はかきの実を枝に残す。』　（文部科学省　心のノート　小学校５・６年から引用）

ずっとずっと昔から自然と共に生きてきた日本人の心を、私たちもしっかりと受け継いでいきたいものです。

○もう一つ、「柿が赤くなれば、医者は青くなる」ということわざがあります。

『柿が赤くなる時期は気候も良く体調が回復する季節であるとともに、柿に含まれるカロテン（ビタミン A やビタミン C）は風邪の予防に役立つ栄養素だから、柿の季節には風邪をひかなくなり、医者にかかる人が少なくなる。』という意味のことわざだそうです。持ち帰った柿を食べて、この冬、健康に過ごしましょう。

一つの柿の実から学ぶことがたくさんありますね。

※子どもたちの学校での様子等をブログで紹介しています。阿太小学校ＨＰを開いて「ブログ」をご覧ください。スマホ等でも見ることができます。